



2007年3月20日
NPO法人 エガリテ大手前

2006年度 次世代育成環境ランキング (主要48都市、東京23区)

1. 本調査について

- 1) 内容： 各種統計データなどを独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的： 自治体間の次世代育成環境（出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など）、行政の姿勢に違いが見られる。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」（自治体、従業員301名以上の事業主による）についても取り組みに差があると思われる。市民による健全な監視役として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けとなるとともに、一般市民の意識向上に寄与したいと考えたもの。
- 3) 今後の予定： 年一回作成する。

2. 当法人について

- 1) 名称： 特定非営利活動法人（NPO）エガリテ大手前
- 2) 設立： 2004年4月（NPO認証：2005年10月）
- 3) 趣旨： 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人（NPO）とするものである。
- 4) 経緯： この法人は、大阪府立大手前高等学校の卒業生有志が中心となって設立された。この学校の前身は1905（明治38）年に卒業生有志が私設女学校を無償で始めたという歴史を持っている。そのような伝統もあり、学生や卒業生には、早い時代から男女共同参画社会への意識が芽生えていたように思われる。上記の女学校設立から百年を経て、我が国の女子教育は大きく進展した。それに次ぐものとして、男女共同参画社会の創出に寄与したいと考えたものである。

5) メンバー： 主婦や会社員を中心に、大学教員、医師、薬剤師、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、研究所調査員、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリストなど幅広い層からの参加を得ている。

6) 問合せ先： furukubo1978@mercury.ne.jp

3. 調査対象： 東京 23 区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計 48 都市

4. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2006 年

① 静態分析（現状）

	出産環境	保育環境	児童福祉	幼児保育	児童保育	小児医療	出生指数		ハードウェア	ソフトウェア		総合
千代田区	11	2	14	1	3	4	11		1	1		1
中央区	2	23	14	16	5	5	1		7	7		7
港区	9	17	14	8	4	22	8		21	19		21
新宿区	3	5	5	19	10	18	6		12	5		12
文京区	4	9	14	4	7	22	13		18	13		18
台東区	13	3	14	2	19	6	23		4	4		4
墨田区	16	14	14	21	13	11	15		19	17		19
江東区	6	18	14	22	17	8	2		16	23		15
品川区	20	13	6	17	1	7	4		5	10		5
目黒区	17	6	11	6	9	20	9		13	11		14
大田区	7	16	9	14	14	12	7		10	12		10
世田谷区	18	19	10	15	11	3	14		6	15		9
渋谷区	14	15	1	13	20	16	17		20	8		20
中野区	8	10	12	10	6	13	20		9	9		6
杉並区	10	7	2	5	12	1	19		3	3		3
豊島区	1	1	14	20	2	17	22		8	6		8
北区	5	4	3	3	18	1	21		2	2		2
荒川区	23	12	14	23	15	18	18		23	16		23
板橋区	19	11	4	18	8	15	12		17	18		17
練馬区	22	21	13	9	22	10	10		15	21		16
足立区	21	22	7	7	23	21	16		22	20		22
葛飾区	12	8	8	11	16	14	4		11	14		11
江戸川区	15	20	14	12	21	9	3		14	22		13

	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子福祉	小児医療	出生指数		ハードウェア	ソフトウェア	総合
札幌市	32	34	32	14	21	9	44	47		29	43	38
仙台市	35	35	36	24	14	18	36	35		32	28	34
さいたま市	9	47	47	40	39	47	31	19		40	48	45
千葉市	37	37	38	41	41	34	38	39		47	37	44
横浜市	45	30	44	34	26	43	47	32		46	47	48
川崎市	24	46	41	42	6	42	43	21		44	24	41
名古屋市	21	25	25	17	28	32	48	25		34	42	37
京都市	5	19	8	12	16	12	45	44		13	38	25
大阪市	4	18	14	11	7	7	46	40		22	19	18
神戸市	12	40	22	9	5	6	34	46		19	17	19
広島市	1	17	20	15	2	17	33	27		23	4	7
北九州市	3	21	15	2	17	8	1	24		2	5	4

福岡市	14	29	27	28	8	31	42	43		35	16	29
旭川市	13	22	18	1	13	5	21	48		9	9	10
秋田市	18	10	26	21	34	2	7	37		4	12	9
郡山市	42	42	45	44	47	23	14	4		38	34	39
いわき市	33	14	28	35	43	37	10	10		21	26	23
宇都宮市	29	24	34	33	30	26	19	5		30	18	27
川越市	39	43	46	47	40	20	20	38		37	35	43
船橋市	46	45	37	48	44	45	25	29		43	45	46
横須賀市	38	41	48	45	46	19	17	31		36	39	42
相模原市	27	44	42	42	29	46	41	33		45	46	47
新潟市	2	5	13	46	23	39	22	41		24	15	16
富山市	10	9	10	36	3	14	4	18		3	2	2
金沢市	25	8	2	5	9	28	30	16		7	22	11
長野市	23	15	6	22	19	22	5	11		5	7	5
岐阜市	44	32	35	30	12	10	9	20		8	29	21
静岡市	7	12	5	20	35	35	34	22		17	36	24
浜松市	20	39	43	39	31	40	32	12		42	32	40
豊橋市	31	31	11	23	33	30	18	6		48	31	26
豊田市	47	38	30	29	42	48	12	1		41	33	35
岡崎市	43	27	24	38	48	16	16	2		28	40	31
堺市	28	36	33	16	18	41	40	28		39	30	36
高槻市	19	48	39	8	45	38	8	23		33	23	32
姫路市	41	26	17	32	22	33	26	17		31	25	30
奈良市	34	33	31	13	38	27	11	45		27	27	28
和歌山市	15	20	19	6	4	25	23	34		6	6	6
岡山市	30	11	9	3	24	29	39	9		14	41	22
倉敷市	36	16	12	37	36	36	2	8		20	13	15
福山市	48	2	4	31	15	11	24	7		25	11	13
高松市	17	13	23	27	25	24	13	3		18	10	14
松山市	40	28	40	10	32	13	29	36		26	44	33
高知市	6	6	3	26	11	21	28	30		11	14	8
長崎市	16	4	21	24	20	15	15	42		12	8	12
熊本市	11	7	16	18	27	1	37	13		15	21	17
大分市	22	3	1	4	10	4	3	15		1	3	1
宮崎市	26	1	7	19	1	44	6	14		10	1	3
鹿児島市	8	23	29	7	37	3	27	26		16	20	20

② 動態分析 (改善度)

	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療	出生 指数			ハート ウェア	ソフト ウェア		総合
千代田区	8	5	1	23	22	4	13			8	7		8
中央区	6	1	1	3	4	7	4			3	1		3
港区	4	11	1	7	15	15	2			13	17		13
新宿区	22	4	1	10	10	13	3			9	4		9
文京区	5	22	1	2	21	15	15			19	14		19
台東区	19	23	1	19	12	15	8			21	21		22
墨田区	12	19	1	22	14	21	16			23	23		23
江東区	2	21	1	8	13	10	10			11	13		12
品川区	11	8	1	1	1	2	7			2	2		2
目黒区	23	18	1	6	17	14	1			14	8		14
大田区	13	3	1	4	9	8	17			5	5		6
世田谷区	10	20	1	21	8	5	11			7	19		7
渋谷区	17	15	1	14	23	23	9			22	18		21
中野区	18	16	1	16	20	12	6			15	20		15

杉並区	7	7	1	20	2	3	14			4	6		4
豊島区	3	17	1	11	3	22	12			18	22		18
北区	1	6	1	5	7	1	20			1	12		1
荒川区	21	10	1	13	6	6	5			6	3		5
板橋区	15	13	1	12	16	11	22			12	11		11
練馬区	16	12	1	9	19	9	23			10	16		10
足立区	14	14	1	15	18	19	19			20	15		20
葛飾区	9	9	1	17	11	19	18			17	9		17
江戸川区	20	2	1	18	5	15	21			16	10		16

	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子福祉	小児医療	出生指数		ハートウェア	ソフトウェア		総合
札幌市	33	24	8	36	16	43	8	23		31	11		13
仙台市	38	5	12	25	1	14	12	36		9	28		20
さいたま市	4	13	14	34	5	16	12	8		10	18		10
千葉市	43	45	9	4	21	38	12	13		33	45		41
横浜市	40	1	16	43	21	19	44	19		15	21		19
川崎市	15	22	1	45	46	29	11	11		21	10		12
名古屋市	21	26	32	7	18	6	12	15		20	22		22
京都市	3	36	44	40	9	8	9	29		23	5		9
大阪市	13	16	2	19	12	11	45	27		22	17		21
神戸市	11	21	21	16	3	2	4	16		1	1		1
広島市	6	23	36	2	2	13	12	46		6	32		14
北九州市	20	38	35	48	10	36	43	33		36	40		44
福岡市	31	12	34	24	21	31	9	9		34	8		8
旭川市	29	4	29	27	43	42	12	24		45	15		24
秋田市	2	18	39	33	4	21	12	26		13	12		15
郡山市	32	3	6	19	14	34	12	32		16	20		18
いわき市	5	41	17	12	21	23	6	42		5	4		5
宇都宮市	7	15	46	23	21	41	12	7		42	19		17
川越市	9	14	40	25	21	30	12	48		43	24		31
船橋市	48	30	5	10	13	22	12	43		28	48		45
横須賀市	46	2	38	18	21	47	12	35		17	31		33
相模原市	18	28	15	36	11	23	12	17		29	13		28
新潟市	12	8	37	5	21	23	12	1		14	30		11
富山市	36	29	30	30	21	12	12	3		27	41		30
金沢市	47	27	31	47	7	32	46	39		39	47		48
長野市	24	39	19	43	6	48	3	34		7	2		3
岐阜市	44	44	47	39	39	19	2	41		4	7		7
静岡市	27	31	27	36	21	45	48	2		47	34		40
浜松市	16	9	23	13	21	18	7	4		11	6		6
豊橋市	34	46	24	9	21	5	12	37		37	39		42
豊田市	14	42	43	29	48	23	12	12		32	38		37
岡崎市	23	48	42	28	21	3	12	40		48	37		46
堺市	37	17	33	30	21	35	12	14		26	27		34
高槻市	30	34	13	30	44	23	12	45		40	42		43
姫路市	28	6	22	42	20	9	12	47		19	14		29
奈良市	17	25	28	3	42	28	42	38		12	25		26
和歌山市	35	47	18	35	15	44	12	44		46	46		47
岡山市	25	10	10	17	47	15	12	21		24	26		23
倉敷市	39	37	11	46	8	1	1	25		3	3		2
福山市	41	20	26	1	19	37	12	6		18	43		25
高松市	45	7	45	11	40	33	12	28		35	36		39

松山市	42	11	4	8	17	39	12	10		25	35		27
高知市	10	33	25	14	21	17	12	31		30	23		35
長崎市	1	19	20	6	21	39	12	30		8	16		16
熊本市	22	40	41	15	45	4	46	20		44	33		38
大分市	8	35	3	22	21	46	5	22		2	9		4
宮崎市	26	32	48	21	21	10	12	18		41	29		36
鹿児島市	19	43	7	41	41	7	12	5		38	44		32

2) 東京 23 区

① 出産環境

- a) 現状： 豊島、中央、新宿の順で優れる。新宿は妊婦検診費助成を増額。
 b) 改善度： 北、江東、豊島の順で優れる。北、港、江東は病院診療所の病床数が大きく増加。豊島は乳児・新生児・周産期死亡率や死産率が低下(相対的にも低水準)。

② 保育環境

- a) 現状： 豊島、千代田、台東の順で優れる。対象人口当りの保育所数・定員数などは豊島、千代田、北が充実。対象人口当りの待機児童数は千代田、豊島、杉並、新宿が少ない。千代田は待機児童ゼロを維持。新宿は育児支援に積極的な区内企業への融資を実施。品川は夜間・休日保育が充実。
 b) 改善度： 中央、江戸川、大田の順で優れる。中央は保育所数・定員数・措置児童数の増加で待機児童数を減少。杉並、大田は待機児童数を大幅に減少。中央は公設民営型保育園を設置。杉並は有料サービスの「子育て応援券」を準備し親の孤立化を防止。江東は保育所定員数・措置児童数を増加。文京は保育実習などを講習した区民が子育て家庭に相談訪問する「子育てサポーター事業」を開始。江戸川は「子育てパスポート」を発行し保育所に通っていない児童へのサービスを促進。世田谷は民間委託型大型施設「子育てステーション」を整備。

③ 児童福祉

- a) 現状： 対象人口当りの児童福祉施設数は渋谷、杉並、北の順で充実。

④ 幼児保育

- a) 現状： 千代田、台東、北の順で優れる。対象人口当りの幼稚園数・学級数・在園数は千代田、港、台東が充実。対象人口当りの三歳児在園数は千代田、台東、北が充実。新宿や品川は幼保一元化に積極的。
 b) 改善度： 品川、文京、中央の順で優れる。文京、杉並、江戸川は幼稚園学級数を増加。大田、品川、荒川は在園児数を増加。品川、大田は三歳児在園数を大幅に増加。文京は「子育て支援券」を小学生以下に配布。

⑤ 児童保育

- a) 現状： 品川、豊島、千代田の順で優れる。対象人口当りの学童クラブ施設数・定員数・登録数は品川、江戸川、北が充実。学童クラブ無料は中央、港、品川、世田谷、渋谷。新宿は中学生までの独自児童手当を支給。渋谷は全児童対象の「放課後クラブ」を全小学校に拡大し土日含めて無料で実施。豊島は児童虐待対策ワーカーを設置。千代田と江東は学童クラブ待機児童ゼロ。
 b) 改善度： 品川、豊島、江戸川、杉並の順で優れる。品川が学童クラブ施設数・定

員数・登録数を大幅に増加、無料化も実施。江戸川も施設数・定員数・登録数を増加。品川、世田谷、豊島は児童母子相談数が大幅に増加。

⑥ 小児医療

- a) 現状： 杉並、北、世田谷の順で優れる。千代田、中央、台東、品川は対象人口当りの小児夜間救急施設が充実。北、世田谷、港、台東では中学卒業までの入院・通院医療費を助成。品川は病時病後時保育を医療機関と連携。
- b) 改善度： 北、品川、杉並の順で優れる。千代田、品川、杉並、北は小児夜間救急施設を充実。

⑦ ハードウェア

- a) 現状： 対象人口当りの施設数などのハードは、千代田、北、杉並の順に優れている。品川の子育て交流保育ルーム「品川宿おばちゃんち」は一時預かりや親子の交流を提供。
- b) 改善度： 中央、品川、北の順で優れる。

⑧ ソフトウェア

- a) 現状： 開業時間、料金、助成などのソフトでは、北、杉並、世田谷の順に優れる。新宿は「三世代交流施設」での地域住民による子育て参加を支援。渋谷は全小中学生に防犯ブザーを配布し、区立小学校に民間警備員を配備
- b) 改善度： 北、品川、世田谷の順で優れる。品川は携帯電話でもアクセスできる子育て関連 HP を開設。葛飾は親子の交流事業「子育て広場わかば」を整備。

⑨ 総合

- a) 現状： ハード、ソフトの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、千代田、北、杉並の順で優れている。
- b) 改善度： 北、品川、中央の順で優れる。中央は区民向け公募債を発行。

- ⑩ その他： 本調査の結果から、バランスの取れた子育て環境を提供している北に「優秀環境賞」、保育所・学童クラブなどの保育環境の充実に意欲的に取り組む品川に「環境改善賞」を贈ることとした。

3) 主要 48 都市

① 出産環境

- a) 現状： 広島、新潟、北九州の順で優れる。対象人口当りの病院診療所数・病床数は長崎、新潟、北九州が充実。対象人口当りの乳児・新生児・周産期死亡は旭川、広島、川崎が低い。対象人口当りの妊産婦・乳幼児保健指導件数は北九州、静岡、相模原が多い。岡山は不妊治療費助成事業を実施。岡崎は第三子に出産祝金を支給。福山は産後うつ対策訪問を実施。
- b) 改善度： 長崎、秋田、京都の順で優れる。札幌、広島、岡山は病院診療所数・病床数が増加。対象人口当りの妊産婦・乳幼児保健指導件数は相模原、大阪、奈良で増加。秋田赤十字病院はリスクの高い妊婦と胎児をケアする母体・胎児集中治療管理室を開設。

② 乳幼児保育

- a) 現状： 宮崎、福山、大分の順で優れる。対象人口当りの保育所の施設数・従業員数・定員などは高知、福山、金沢、新潟が充実。延長保育・休日保育では長崎、福山、宮崎が優れる。対象人口当りのゼロ～二歳児保育在所数、乳児保育所数は倉敷、金沢、大分が充実。待機児童ゼロは新潟、いわき、富山、金沢、長野、岐阜、豊橋、岡崎、岡山、福山、宮崎。北九州の一時預かり制度は提供・依頼会員ともに普及。奈良は休日、病後保育を充実。倉敷のファミリーサポートは個人負担なしで三種の保険に加入。金沢は「子育てサービス券」支給による公的サービス利用料を助成。
- b) 改善度： 横浜、横須賀、郡山の順で優れる。保育施設数・定員・従業員数などは旭川、川越、郡山が増加。延長保育は横浜、宇都宮、岡山が増加。待機児童数は堺、長崎、奈良が大幅に減少。郡山は市民代表による「子育て支援総合施設整備検討委員会」を運営。
- ③ 児童福祉
- a) 現状： 大分、金沢、高知の順で優れる。対象人口当りの児童福祉施設数・従業員数・定員数などは金沢、高知、大分が充実。対象人口当りの児童デイサービス・児童短期入所施設数・従業員数・定員数などは鹿児島、岡山、松山が充実。
- b) 改善度： 川崎、大阪、大分の順で優れる。児童デイサービス・児童短期入所施設数・従業員数・定員数などは仙台、船橋、松山が増加。
- ④ 児童養護
- a) 現状： 旭川、北九州、岡山の順に優れ、対象人口当りの児童養護施設数・従業員数・定員などが充実。
- b) 改善度： 福山、広島、奈良の順に優れ、対象人口当りの児童養護施設数・従業員数・定員などが増加。
- ⑤ 児童保育
- a) 現状： 宮崎、広島、富山の順に優れる。対象人口当りの児童館・児童センターの施設数・従業員数などは川崎、大阪、岡山が充実。対象人口当りの学童クラブ数は大阪、宮崎、金沢が充実。
- b) 改善度： 仙台、広島、神戸の順に優れる。対象人口当りの児童館・児童センター施設数・従業員数は神戸、広島、さいたまが増加。
- ⑥ 母子福祉
- a) 現状： 熊本、秋田、鹿児島順に優れる。対象人口当りの母子福祉施設、母子生活支援施設などの施設数・従業員数・定員数などは秋田、高知、大分、鹿児島が充実。
- b) 改善度： 倉敷、神戸、岡崎の順に優れ、対象人口当りの母子福祉施設、母子生活支援施設などの施設数・従業員数・定員数などが増加。
- ⑦ 小児医療
- a) 現状： 北九州、倉敷、大分の順に優れる。対象人口当りの小児夜間救急施設数や開所時間などは北九州、倉敷、富山、大分が充実。小児夜間救急施設のHP案内は横須賀、新潟、高槻が優れる。
- b) 改善度： 倉敷、岐阜、長野の順に優れる。対象人口当りの小児夜間救急施設数や

開所時間は神戸、倉敷、大分で改善。小児夜間救急施設のHP案内は札幌、長野で改善。福山は学校禁煙を推進。宮崎は小児救急医療電話相談（休日、年末年始、夜間の受付）を実施。

⑧ ハードウェア

- a) 現状： 対象人口当りの施設数などのハードは、大分、北九州、富山の順に優れる。
- b) 改善度： 神戸、大分、倉敷の順に優れる。長野や和歌山や岐阜は行動計画の進捗を詳細に公表。

⑨ ソフトウェア

- a) 現状： 開業時間、料金、助成などのソフトでは、宮崎、富山、大分の順に優れる。札幌は区役所に子育て支援担当職員（保育士）を配置。
- b) 改善度： 神戸、長野、倉敷の順に優れる。いわきは医師会が休日在宅当番医制度を開始。鹿児島、宮崎では未就学児の親が対象の育児情報誌「はっぴーママ」が創刊。

⑩ 総合

- a) 現状： ハード、ソフトの両面で対象人口との負の相関傾向が見られるため、出生指数を加味した総合評価では、大分、富山、宮崎の順に優れる。
- b) 改善度： 神戸、倉敷、長野の順に優れる。長野は行動計画の新規事業のほとんどを実施済で未実施事業も着手済。広島は「ひろしま夢財団」が企業や店舗からの資金で子育て支援事業を推進。

- ⑪ その他： 本調査の結果から、バランスのよい子育て環境を提供している長野に「優秀環境賞」、ハード・ソフト両面の充実を進めている神戸に「環境改善賞」を贈ることとした。

以 上